

令和6年度 安城北すずらん保育園における自己評価の結果

A：100～90％ B：90～60％ C：50～30％ D：30％以下

項目	内容	総合評価	意見
基本事項	①教育・保育の基本が理解できているか。	B	・園内研修や外部研修の効果もあり、④については昨年度よりも高い評価になった。しかし、職員の中にはまだ勉強が必要と感じている人もいるので今後も研修を受けたり、情報共有をしたりして全体で学んでいきたい。
	②教育・保育の配慮事項が理解できているか。	A	
	③全体的な計画・指導計画についての理解と実践がされているか。	A	
	④「育みたい3つの資質・能力」や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について理解しているか。	B	
	⑤子どもの発達について理解しているか。	A	
保育の内容について	①乳児期の身体的発達について理解し、実践しているか。	A	・今年度から幼児保育がスタートしたため、園内であったこと、子どもの様子などをこれまで以上に共有するようにしていった。 ・昨年度までの低年齢児保育の経験が活き、幼児の保育も個別的に、かつ子どもの主体性を尊重した保育ができた。 ・今後は、年長児と小学校を繋ぐ役目を果たせるように、地域交流を積極的にしていきたい。
	②乳児期の社会的発達について理解し、実践しているか。	A	
	③乳児期の精神的発達について理解し、実践しているか。	B	
	④1歳以上3歳未満児の「健康」についての理解をし、実践しているか。	A	
	⑤「人間関係」についての理解をし、実践しているか。	A	
	⑥「環境」についての理解をし、実践しているか。	B	
	⑦「言葉」についての理解をし、実践しているか。	A	
	⑧「表現」についての理解をし、実践しているか。	B	
	⑨保育の実施に関わる配慮事項について理解し、実践しているか。（乳児・1歳以上3歳未満児）	A	
健康・安全について	①健康支援を行っているかどうか。	A	・健康支援については、担任が保護者や看護師と情報共有をしていくようにした。 ・食育については、野菜の栽培や収穫、クッキング体験などを通して、食への興味・関心や、楽しさを感じられるように取り組んだ。 ・災害の備えについては、防災用品の点検や非常食の試食などを行った。
	②食育について取り組んでいるか。	A	
	③衛生管理や安全管理がされているかどうか。	A	
	④災害への備えはされているか。	B	
子育て支援について	①園児の保護者に対する支援について行えているか。	A	・日々、保護者とのコミュニケーションや個人懇談会でのお話を通して、親身に相談にのったり、園での様子を知らせたりするようにした。
	②地域における子育て支援について行えているかどうか。	B	
職員の資質向上	①資質向上のための取り組みができているかどうか。	A	・日々の園内研修や、外部研修などで資質向上のための取り組みができた。また、外部研修に参加できないパート職員も参加者の研修報告を定期的に聞き、共通理解をもって保育に取り組むことができた。
総合評価	・今年度から幼児保育がスタートし、手探りの中ではあったが、今までの低年齢児の保育経験を活かし、子どもたちが主体性をもって遊びに取り組めるようにしていった。 ・幼児保育が未経験の保育者のために、園内研修では積極的に幼児保育の研修を取り入れるようにした。 ・職員同士、日々の出来事やエピソードなどを積極的に話し、子どもたちにとってより良い環境になるよう努めた。 ・自己評価の実施について、今回から短時間のパート職員は話し合いのみの参加とした。どのような立場でも、日頃からコミュニケーションをしっかりと取り、大人も子どもも過ごしやすい場になるようにしていきたい。		